

## 事例紹介 I

# 本業を活かす

本業にかかわる技術や知識を活かして行う社会貢献活動。長年培ってきたノウハウや自社の強みを応用・活用できるため、手がけやすく、無理なく長続きさせられるという特徴があります。



2カ月に1度の訪問は奉仕活動に参加する美容師たちにとっても楽しみ



北の研美は昭和27年に創業、現在は札幌市内に3店舗を展開している

美容室

## 有限会社 ビューティサロン 北の研美

北区北16西3

福祉

■社員参加 ■技術提供



現場では2人1組に分かれ、入所者が疲れないように手際よくヘアカットを行う

## 休日に奉仕活動 先方は対応を絶賛し感謝

山の木々が色付き始めた10月の第2火曜日、中央区の慈啓会特別養護老人ホーム1階フロアに私服姿の美容師たちが集まってきました。彼女たちはビューティサロン北の研美のスタッフ。同店は2カ月に1度、定休日に特別養護老人ホームまで出向き、無料ヘアカットを行っています。

この日参加した美容師は8人。2人1組でカット希望者がいる各フロアに分かれ、次々と作業を進めています。入所者のお年寄りが疲れないようにとカットは手際良く短時間で。この間、ヘアスタイルに関する

# 先輩から後輩へ 30年以上にわたり受け継がれる 技術と心による社会貢献活動

昭和27年に創業した美容室「ビューティサロン北の研美」は2カ月に1度、店舗が休みの日に慈啓会特別養護老人ホームで無料ヘアカットを行っています。こうした取組の精神は社員によって代々受け継がれ、日常の仕事にも活かされています。

希望を聞くのはもちろん、近況を尋ねたり、ときには冗談を言い合ったり、周りに笑いの輪を作ります。和やかな雰囲気の中、約2時間で40人あまりのヘアカットを終えました。

こうした北の研美による奉仕活動に対し、同ホームで寮母を務める黒川恵子さんは、感謝の言葉を述べるとともに、「何十年もこういう活動をしていて慣れもあるのだと思うが、入所者への接し方が温かく親切で素晴らしい、入所者もこの日を待ちわびている」と絶賛します。

## きっかけは業界団体での話 仕事にも活きる奉仕の精神

同社がこの取組を始めたのは、業界団体の勉強会で話が出て、瀬川淳子代表が「世の中の役に立てるし、若い人に仕事を覚えてもらうためにもいい」と単純に思ったのがきっかけ。札幌市に相談に行き、慈啓会特別養護老人ホームを紹介され、それ以来活動は30年以上続いています。

瀬川代表は「美容師というのは技

術職だが、感情はお客さんに伝わるものなので心も大切。人間性を磨いていかないと続けられない仕事」と話します。同ホームでの奉仕活動も社員に強制しているわけではありませんが、その日に都合の付く美容師たちが自発的に参加しており、「うちの社員たちは純粋に他人に喜んでもらうことに喜びを見出し、それが日ごろの仕事にも活かされている」と胸を張ります。

瀬川代表の話を裏付けるように、参加する美容師たちは「特別養護老人ホームへの訪問は私たちにとって2カ月に1度の楽しみ」「入所者の方たちに喜んでもらえるのが何よりうれしい」と口々に語り、この活動が今や彼女たちのライフワークになっているようです。

### 成功の秘訣

社員によって  
取組の精神を  
代々引き継ぐ



北区新川にある帝国車輛の社屋。自動車の美装に関しては特に力を入れており、仕上がりに絶対の自信をもつ

# 養護学校の生徒のために 技術を習得する研修の場を提供 障がい者雇用のモデルケースにも

自動車の修理や美装などを手がける帝国車輛は、知的に障がいのある生徒が通う北海道札幌高等養護学校クリーニング科の生徒を対象に、自動車美装に関する技術指導や使用機材の情報提供を実施。技術のみならず、働く喜びと厳しさも教え、社会進出に対する生徒の意欲を引き出しています。

## 養護学校で技術指導と講義 授業のレベルアップに貢献

この取組をスタートさせたのは、同社の梅村智秀代表が、たまま北海道札幌高等養護学校の製品販売会の新聞折り込みチラシを目にしたときに、「カークリーニング」の文字に興味を引かれ、同校を訪問したのがきっかけ。同校クリーニング科では見よう見まねで実習していることや地域との交流がほとんどなかったことを知り、協力を申し出たといえます。それ以来、定期的に出向いて自動車美装の技術指導や講義を行

い、教材についてもプロ仕様のものをベースにアドバイス。授業のレベルアップにつながりました。

生徒を自社に迎え入れて行う現場実習では、仕事の技術を教えるだけでなく、働く喜びと厳しさを感じてもらいたいとの思いで指導しています。「この作業によっていくらの収入を得られるのか」「ミスした場合はなぜそうなったのか」。そうしたことを考え、理解することで、「自分を必要としてくれる人がいることを感じ、社会に出る自信や意欲を養ってもらいたい」と思っているそうです。

## 自社への雇い入れを前提に研修 障がい者雇用のモデルケースに

平成22年秋には翌年春からの雇用を前提に、養護学校の男子生徒1名を長期間研修させました。まず自社で障がい者雇用の実績を作り、モデルケースとなって業界他社や取引先にも理解と取組を働きかけていく考え。梅村代表は「うちの会社は美装の技術、仕上がりには絶対の自信をもっているが、養護学校の生徒が実習で会得する技術や仕事に対する姿勢は社会で十分通用するレベル」と大鼓判を押します。

自動車修理・美装、販売

**株式会社 帝国車輛**

北区新川

その他 ■機会創出 ■技術提供

成功の秘訣

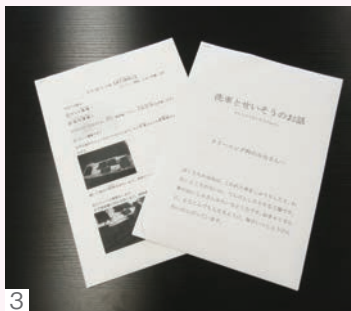
全社員が  
何らかの形で  
取組にかかわる

社内では実習で受け入れた生徒とは全社員が何らかの形でかわるようになっています。授業のお礼にと生徒から届いた手紙や手作りの木製ラック、花などは全社員で回覧。今まで以上に社員の結束力も強まったといえます。また、生徒の親とも交流が生まれ、喜びや感動を共有しています。



1

- ① 同社の作業場で社員とともに自動車美装の実習に取り組む生徒
- ② 社内の壁に貼られた生徒からのお礼の手紙
- ③ 生徒向けに手作りされた授業のテキスト



3



2

# 重機を持ち込み インパクトのある交通安全教室 工事現場周辺で地域貢献活動

土木、舗装、とび・土工、建築

## 北創丸杉建設 株式会社

北区屯田

地域安全 ■ 機会創出

### 幼稚園児を対象に 実地の交通安全教室開催

北創丸杉建設は平成19年に札幌市立太平南幼稚園の園児を対象に実地の交通安全教室を行いました。きっかけは、同幼稚園の近くで工事を行っていたとき、角川幸治代表が現場近くを歩いて通う大勢の園児を目にして、工事現場の危険性や交通安全に関する教育の必要性を感じたこ

と。幼稚園側に教室の開催を働きかけ快諾を得て実現しました。

当日は、同社所有の重機を幼稚園の敷地内に搬入。運転手から死角になるところに風船を置き、園児を運転席に乗せて、手から見えない場所が多くあるということを実体験させました。実際の重機を目の前にして園児たちは興味津々。重機を動かして死角に置いた風船を割った

実演では悲鳴が上がるほどインパクトがあつたそうです。

このほかにも同社は受注した工事を通して縁があつた地域で、ごみ収集箱修復や公園の草刈りなどの社会貢献活動を地道に行っています。今後はかつて青年会議所役員の活動で培った角

### 培ったノウハウを活かし 活動を充実させ継続

川代表のノウハウを活かし、子どもたちに対する安全教育や地域のまちづくりに協力できる活動を充実させ、取組を続けていきたいと考えています。

### 成功の秘訣

自社の仕事を通じた視点で相手に働きかけ



1



2



3

- 1 自前の重機をバックに大勢の園児たちの前で話をする角川代表
- 2 園児たちを順番に重機の運転席に座らせて死角を確認
- 3 利益の社会還元も会社の理念として掲げている北創丸杉建設



本社前に設置された音楽祭のステージでは、様々なミュージシャンが会場を盛り上げる



本社内の博物館で公開展示されている素晴らしい楽器の数々

楽器修理販売、音楽教室

## 株式会社 エルム楽器

手稲区西宮の沢

文化・芸術 ■機会創出 ■物品提供

# 音楽を通じて 地域や人とつながり ともに成長することを 目指す

日ごろの感謝を込めて  
音楽イベントなどを開催

音楽を通じて  
情緒豊かな人を育てる

楽器の販売や音楽教室を運営するエルム楽器では、手稲区にある本社を中心に年間数回の感謝祭や音楽イベントを開催。こうした催しは本社のみならず札幌市内や千歳、室蘭、釧路などの各店舗において様々な形で行われています。

これらの取組について、同社代表取締役社長の寺田良紀さんは「日ごろから来店してくれるお客様、音楽教室に通っている生徒のみなさんなど、当社と様々な形でかかわりのある人たちや地域に対して感謝の気持ちを示したかった」と説明します。

感謝や地域還元を理念とする取組はさらに「札幌楽器博物館」の開設につながりました。平成19年に本社店舗内に設置された博物館では、普段目にすることの少ない素晴らしい楽器を展示し、無料で開放しています。

感謝の気持ちを形にする様々な取組によって、音楽や芸術文化を発展させていこうというのが同社の狙い。こうした活動は音楽を通じて「人々」を育てることへとつながっていきます。

「演奏する人も聴く人も、子どもから大人までもがその楽しさや素晴らしさを共有できる音楽で、豊かな心を育んでもらいたい」と寺田社長は話します。

### 成功の秘訣

感謝の気持ちと  
地域に  
密着した活動

# 環境活動と経済活動を両立 オリジナル商品も開発し “年賀で植林”プロジェクト始動

印刷

株式会社  
プリプレス・センター

中央区北2西14

環境保全 ■社員参加 ■機会創出

**環境負荷低減のため  
できることを積極的に**

「環境負荷を抑えた製造体制を構築し、持続可能な循環型社会の実現に貢献する」。プリプレス・センターでは明確なビジョンを設定し、それに基づいた事業活動を展開しています。

印刷事業では、有害物質を排出しない「水なし印刷」や、適切に管理された森林からの原料



1



2

3

①藤田靖代表取締役と社員で美幌町にある「年賀の森」に植樹  
②市内「サミットの森」。北海道グリーン購入ネットワークの活動にも参加  
③「グリーンエコ年賀状」（名入れ）印刷310枚分でカラマツ1本が植えられる

を含むFSC<sup>TM</sup>※認証紙を採用するなどして、環境に配慮した印刷を積極的に推進。平成20年からは一般消費者参加型の「グリーンエコ年賀状プロジェクト」も実施しています。

主にネット上で販売し、売上げの一部で美幌町「年賀の森」に植樹を行っています。商品にはサイトに誘導するQRコードを印刷。年賀状を受け取る側にも「年賀で植林」の取組を広く発信しています。

を「消費者にきちんと見えていくこと、わかりやすさが大切」と話します。取組の結果が出ることで社員のモチベーションが上がり、相乗効果も生まれていくそうです。

**みんなで森をつくる  
新しいエコ年賀状を企画**

「グリーンエコ年賀状」は同社独自のCO<sub>2</sub>オフセット商品。

この商品が注目を集め、2年間で約2700本のカラマツを植樹しました。川向公博総務部長は、こうした活動のポイント

成功の秘訣

消費者にも  
アピールできる  
わかりやすさ



# 元受刑者などを積極的に雇用 誰もが希望をもつて 毎日働ける社会を目指して



従業員は約55人。平成23年4月には、新たに新卒者（中・高・専門・大学）38人を採用

とび・土工・解体

## 北洋建設株式会社

東区北20東12

その他 ■機会創出



「取組は先代の時代から続けている」と話す小澤専務

### 「やる気」を支え応援 昭和48年創業時から継続

元受刑者や中卒者、非行歴のある少年などを雇い入れて30年以上になる北洋建設。仕事を教えるだけでなく、生活指導の面においても力を注ぐなど、彼らが社会のなかで生きるためのバックアップを惜しみません。これまで大きな事件を起こしたことはなく、冬は早朝から近所の除雪を手伝ったりと、地域との良好な関係も築いてきました。取組を続けていることに対して、「うちに職場を提供できる環境があるだけ。誰しも平等に普通の生活を送る権利がある。資金面はキツいが、困っている人がいるなら何とかしてあげたい」と同社の小澤輝真専務。

本人にやる気があれば、学歴や経験は不問。しかし、短期間で辞めてしまうケースも多くあります。「そのなかでも残った人間が戦力になって会社に貢献

してくれている。うちに仕事を outlet してくれる元請けの方々にも感謝している」と話します。

### NPOからの要請に応え 知的障がい者を受け入れ

NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフが運営する「元気ジョブ」との出合いをきっかけに、平成22年から知的障がい者の雇用も開始。先輩従業員が彼らに適した仕事を準備し、作業してもらうところから始めたそうです。

「うちのような会社がどんどん増えていけば、就職の機会に恵まれない人たちをもっと救えるのではないだろうか」。小澤専務はそう考えています。

成功の秘訣

積極性と  
責任ある  
フォロー

● 本業を活かす

年賀状で植林

就職機会提供

# 社員扮するサンタクロースが 児童福祉施設の子どもたちに クリスマスケーキをプレゼント

コンビニ

株式会社  
セイコーマート

中央区南9西5

その他

■社員参加 ■物品提供

## 子どもたちの夢を叶える 社員参加の取組

児童福祉施設の子どもたちにクリスマスプレゼントを届ける活動を続けているセイコーマート。毎年12月22日にサンタクロースに扮した社員がクリスマスケーキやお菓子を持って全道を回ります。移動は車で、ケーキのクリームを溶かさないうように暖房は入れないで走行。可能な

限り一人ひとりに手渡しし、サンタクロースの存在を信じる子どもたちの夢を叶えます。

地域貢献・環境対策室室長の  
大森慎二さんは取組について、「クリスマスを特別な日と考える当社ではオリジナルのクリスマスケーキに力を入れている。もっと多くの人にその日を楽しんでほしいという思いが根底にある」と話します。

## 強みを活かすことが 長く続ける秘訣

取組を開始した平成14年の訪問先は札幌市内14施設だけでしたが、積極的にアプローチをし、平成21年には全道76施設にまで増えました。訪問した施設では必ずアンケートを取り、それを基にプレゼントの内容を検討。より喜んでもらえるよう努力を惜しみません。

成功の秘訣

会社の強みを  
活かした  
無理のない活動

継続のコツは「会社の強みを活かし、身の丈にあった活動が心がること」だと大森室長。子どもたちからのお礼の手紙も励みになっているといいます。



- ①社員サンタにとってうれしいのは子どもたちが喜んでくれること
- ②「今後も社会貢献には積極的に取り組んでいきたい」と大森室長
- ③セイコーマートオリジナルのクリスマスケーキをプレゼント



名刺裏にはボランティア団体を応援するメッセージが



デジタルカラー複写機の無償使用でボランティア団体を支援

情報機器販売

## 富士ゼロックス 北海道株式会社

中央区大通西6

---

その他 ■社員参加 ■活動支援

# 創業30周年を機に 全社員参加の社会貢献活動 「名刺両面作戦」も実施

## 地域への感謝の気持ち 全社員参加による活動

これまで様々な社会貢献活動に取り組んできた富士ゼロックス北海道。平成22年には創業30周年を機に、企業活動のベースである「北海道」への感謝の気持ちを込めて、「全社員が身近なところで何らかの社会貢献をする」という活動を行いました。

この取組は、社員の給料のうち、100円未満の端数のお金を社会のために寄付する活動を続けていた「端数倶楽部」が中心になって推進。同年7月から9月までの3カ月間、公園などの清掃を中心に約450人の全社員が本社、営業所がある全道各地域で活動しました。

## 名刺の裏に入れた言葉で ボランティア団体を応援

社会貢献に対する社内の機運を「一過性のもので終わらせたくない」と次に取り組んだのが

「名刺両面作戦」でした。

これは同社がデジタルカラー複写機の無償使用という形で従来からサポートしてきたボランティア団体に対する応援メッセージを全社員の名刺裏に載せるという取組。「拡大教科書の制作」と「札幌遠友塾」に対する応援の言葉が名刺裏に貼られるシールに印刷されています。

「拡大教科書の制作」は文字などを大きくした弱視の生徒用の教科書を作る活動、「札幌遠友塾」は病气や戦争の影響で学ぶ機会に恵まれなかった人が通う夜間中学校です。

同社では、今後も活動継続に向けて社員の背中を押す仕掛けづくりを考えています。

成功の秘訣

社会貢献の機運を  
継続させる  
仕掛けづくり



保育所調理室で作る離乳食を提供。調理法やアイデアも紹介している

学校法人札幌学園真駒内幼稚園では、10年以上前から独自に「未就園児親子の集い」を実施してきました。現在は同法人が同じ園舎で運営する認可保育所「遊・WinG」と連携・協力し、それぞれの

幼稚園

**学校法人 札幌学園  
真駒内幼稚園**

南区真駒内曙町

---

子育て ■社員参加 ■機会創出

## 子育て中の親同士が交流できる場から「人と人のつながりの大切さ」を発信

「ファミリーベビー」は特徴的な活動のひとつ。保育所の離乳食の試食や簡単な工作など、同園教諭と保育士が内容を工夫しながら毎月開催しています。人手、時間、費用を要しますが、参加者に喜んでもらうことを原動力に、笑顔の輪を広げています。

親子の集いのなかでも0〜1歳児とその親を対象にした「ファミリーベビー」は特徴的な活動のひとつ。保育所の離乳食の試食や簡単な工作など、同園教諭と保育士が内容を工夫しながら毎月開催しています。人手、時間、費用を要しますが、参加者に喜んでもらうことを原動力に、笑顔の輪を広げています。



「お母さま方に少しでもくつろいでほしい」と岡内副園長（写真中央）



環境教育情報紙「エコチル」は市内小学校に毎月10万部無料配布

「子どもたちから始まる環境活動の輪」をテーマに、エコチル事業を展開するアドバコム。プロモーションの力で社会的課題解決に貢献することをミッションに掲げ、行政・学校・企業を巻き込んだ

広告代理店

**株式会社 アドバコム**

中央区南2西1

---

教育 ■機会創出

## 社会的課題の解決にビジネスで挑む環境に関する「エコチル事業」を展開

「『エコチル』を発行し続けることは、将来、環境保全を積極的に考える大人が増えることにつながる。ユーザー、スポンサー、地域社会をエコで結びつけ、それぞれに有意義な価値を創造し提供し続けたい」と白井純信代表取締役。

「子どもたちから始まる環境活動の輪」をテーマに、エコチル事業を展開するアドバコム。プロモーションの力で社会的課題解決に貢献することをミッションに掲げ、行政・学校・企業を巻き込んだ啓発を図っています。



NPOなどと連携し、環境教育を目的にエコチルイベントを定期的実施



花育の一環として、東区の保育園にてジャガイモ植えをサポート

札幌を拠点に道内各地でフラワーショップを展開するフラワーショップいしざかは、平成22年に創業20周年を迎えました。この節目の年に「社会への恩返し」という気持ちを含めて独自に立ち上げたの

花き小売

**有限会社  
フラワーショップいしざか**

東区中沼町

教育 ■人材活用 ■機会創出

## 花を通して地域コミュニティを元気に 創業20周年を機に独自の活動を始動

企画営業部の三船力さんは、今後の展開について「企業やNPOなども連携し、活動を発展させていきたい。各店舗でも企画を進め、人と人とのつながりを生むような新しい花屋の形をつくられたら」と話します。

社員のボランティア活動であるFS運動では、花を用いた教育活動支援やフラワー教室の開催、まちづくりや観光におけるイベントへの協力などを実施。この運動により、花を通じた地域コミュニティの活性化を目指しています。



全道に約60店舗（アークスグループ店舗内）のフラワーショップを展開



人気の健康体操のほか、福祉施設や介護をテーマにした講座も好評

毎月第2土曜日に開催している「パウロにつこりクラブ」は、平成19年からスタートした地域住民対象の医療福祉公開講座。ドクターやナースが講師となって話をするほか、理学療法士の指導で健康

病院

**医療法人 中山会  
新札幌パウロ病院**

厚別区厚別東

福祉 ■社員参加 ■技術提供

## 地域住民に向けた無料の医療福祉講座 体操や温泉を取り入れ、楽しめる内容に

「マンネリ化しないよう頭を使って」と話します。また、受講者に毎月足を運んでもらうため、スタンプカードを配布する仕組みも導入。1年間休まず参加した人には粗品をプレゼントするといった工夫もしています。

体操などを行っています。受講者は講座終了後、施設内にある温泉を利用できるという、うれしい特典も付いています。活動を継続するうえで最も苦心するのは「講座のテーマ選び」と種村洋一地域医療部副部長。長く続けるとネタに詰まることもあり、同じテーマでも切り口を変えるなど、



会場は病院に隣接するデイサービスセンターぱうろ温泉の1階ホール



結果があまりに良かったので翌年、2台目も購入した生ごみ処理機

大正から続く老舗の仕出し屋、喜久一では、食品廃棄物や割り箸のリサイクルに取り組んでいます。きっかけはラジオ番組でごみのリサイクルの話聞いたことでした。「毎日大量に出る生ごみを前

料理・弁当仕出し

## 喜久一本店

中央区南13西8

環境保全 ■物品提供

## きっかけはラジオ番組で聞いた話 生ごみや割り箸を独自にリサイクル

「新聞で、子どもたちが近所の飲食店で廃棄される割り箸を収集し、製紙工場に持って行っているという記事を読んで思いついた」といいます。今後は植林活動にも取り組む考えです。

一方、回収されてくる割り箸などの木材ごみは、近所の銭湯で焚き付けに使ってもらっています。「新聞で、子どもたちが近所の飲食店で廃棄される割り箸を収集し、製紙工場に持って行っているという記事を読んで思いついた」といいます。今後は植林活動にも取り組む考えです。



割り箸のほか、サケの箱やカマボコの板など意外と多い木材ごみ



「子どもたちは泥遊びをする感覚で楽しんできた」と阿部代表

阿部花園の阿部哲也代表は平成22年春、孫が保育園に通い始めたのを機に、園児に向けた花育活動を始めました。「子どもたちに花や土にふれる機会を与えたい」と保育園に申し出たところ、快諾を得

花き卸売

## 株式会社 阿部花園

白石区流通センター

教育 ■社員参加 ■物品提供

## 子どもたちに花や土にふれる機会を 保育園での花育活動をスタート

阿部代表は「思っていた以上に子どもたちが喜んで参加し、花を可愛がってくれて、うれしく思っている。今後は花育活動を会社の経営理念に位置付け、コツコツと長く続けていきたい」と話します。

当日は花の苗や土、プランターを車に積み、社員と一緒に向きました。園児には自分で好きな花を選んでもらい、手取り足取り植え方を教えます。その後、保育園では、プランターをおしゃれな木製ケースに入れ、花の名前を書いたプレートを付けて、今も大切に育てているそうです。



園児と阿部花園のスタッフで植えた花。保育園で大切に育てられている



平成22年秋に行われた料理教室の様子。この日はそば打ち体験を実施

札幌市の区役所などで食堂を経営している白石観光。利用者への恩返しを考えた布施正樹代表は、調理師や生産者と連携し、食育を目的とした「札幌市民と北海道の農水産物を食する会」を発足させま

区役所などの食堂経営

## 白石観光株式会社

厚別区上野幌

その他 ■その他

## 利用者への恩返しに 調理師や生産者と連携した食育活動

喜ばれるのみならず、スタッフの食の提供者としての意識や責任感も高まったそうです。布施代表は「講師の確保やテーマ探しなど苦労はあるが、参加者の喜ぶ顔を見るとやめられない。信じて続けるのみ」と熱意を見せます。

した。数カ月に1度、市民を対象に食に関する勉強会と料理教室を開催しています。



勉強会で講師の話に興味深く聞く参加者。講師は全道各地から招く

不動産業

### 丸栄寺田商事株式会社

北区篠路

環境保全 ■物品提供

**蔵書や不要本で私設図書館  
近隣の住民に無料貸出**

引越現場で顧客から処理を依頼されること多い不要本と読書好きだった先代社長の蔵書を活かし、地域に何らかの貢献ができればとの思いで、社屋2階に私設図書館「寺田文庫」を開設。本業の宣伝チラシでも周知を図り、近隣の住民ら利用者に喜ばれています。



所蔵約5千冊はジャンル別に整理

広告代理店

### 株式会社 ヨミックス

中央区北4西4

福祉 ■社員参加 ■機会創出

**児童養護施設の子どもに  
夏の思い出をプレゼント**

家庭の事情で夏休みに帰宅できない児童養護施設の子どもたちをルスツリゾートに1泊2日で招待し、社員も引率者として思い出づくりに協力しています。38年間続くこの活動は、賛同する企業が読売新聞に広告を掲載し、その際に生じるヨミックスの収益を充て実施されています。



子どもたちから寄せられた感謝の手紙

まちづくり会社

### 株式会社 ノーザンクロス

中央区北1西5

環境保全 ■機会創出

**「サツポロ・ミツバチ」を  
プロジェクト」を展開**

環境指標生物であるミツバチとのふれあいを通じて都心の環境を見直し、都心部の環境保全や魅力づくりを進める活動をまちづくりの一環として実施。

ビルの屋上を緑化しミツバチの生育環境を整えると同時に、はちみつなどを題材にしたイベントも開催しています。



子どもたちと一緒にビル屋上で採蜜体験



20チームが熱戦を展開した「第1回アジャタ（玉入れ）小学生大会」

札幌大学では、大学が所有する知的・人的・物的資源を、地域のために活用しようと、幼児から高齢者まで誰もが文化、スポーツを学び、楽しめる「札幌大学地域スポーツ・文化総合型クラブ」を平成21

大学運営

---

## 学校法人 札幌大学

---

豊平区西岡

---

その他 ■人材活用 ■物品提供

## スポーツ・文化総合型クラブを設立 世代間交流で元気な地域づくりに貢献

会員は小・中学生とその保護者、高齢者が多く、9割以上が豊平区の住民。同大学では地域交流、世代間交流の場として「より多くの人が参加できるプログラムづくりや施設環境の充実を図っていきたい」としています。

同大学の施設で行うプログラムは各種スポーツ教室や講習会、楽器体験会、吹奏楽コンサートなど多種多様。特別支援学級・学校の児童生徒を対象に「チャレンジド・スポーツ教室」も開催しています。

会員は小・中学生とその保護者、高齢者が多く、9割以上が豊平区の住民。同大学では地域交流、世代間交流の場として「より多くの人が参加できるプログラムづくりや施設環境の充実を図っていきたい」としています。



豊平区と連携し実施した「親子でReフレッシュ!」には93人が参加



“農”感塾に参加した小学生が生産者のアドバイスの下で田植えに挑戦

ホクレンでは、食育活動として、株式会社農協観光とのタイアップによる農業体験バスツアー「ホクレン「農」感塾」を平成20年からスタートさせています。

この取組は、親子で農業や

農業協同組合連合会

---

## ホクレン農業協同組合 連合会 本所

---

中央区北4西1

---

教育 ■機会創出

## 「食」と「農」の大切さを広く発信 北海道の発展に向けて様々な活動を支援

このほか、毎年秋には札幌市を通じ、新米4トンを児童福祉施設に贈呈。また、北海道の地域活性化や青少年の健全育成を目指し、スポーツ大会や少年スポーツ活動、文化活動に協賛し、オフィシャルスポンサーとして北海道日本ハムファイターズなどを支援しています。

酪農の生産現場にふれる機会を設け、農業の果たす役割と重要性、食べ物の大切さや農産物への理解を深めてもらうというもの。札幌近郊の親子を対象に田植えや稲刈り、野菜収穫などのプログラムを年6回実施しています。



昭和61年から少年野球大会に協賛し、青少年の健全な育成を支援



自動車中古部品販売

## 石上車輛株式会社

豊平区月寒東

環境保全 ■社員参加

**「自動車リサイクルの森」**  
 一般ユーザーから引き取った廃車1台につき、カラマツ1本を美幌町に植林し20年間管理する「自動車リサイクルの森プロジェクト」を平成20年に始動。「リサイクルを通じて地球環境に貢献」というコーポレートスローガンの下、長期的な視点に立った活動に取り組んでいます。

これまでに約9千本のカラマツを植樹



音楽教室運営

## ハート音楽院株式会社

中央区大通西2

文化芸術 ■社員参加 ■技術提供

**生の音楽にふれる機会を20年以上継続する演奏会**  
 福祉施設や幼児教育機関からの依頼を受け、出張演奏会を行っています。演奏会は学院の講師陣によるピアノやギターなど様々な楽器のアンサンブル。授業の合間を縫っての日程調整は大変ですが、「生の音や楽器にふられるいい機会とすれば」という一心で続けています。

奏者も楽しんでるのが長続きの秘訣



職業訓練校

## 株式会社 北海道ビジネスアカデミー専門学校

北区北7西4

その他 ■機会創出

**自前の野菜販売店を立ち上げより効果的な職場実習の場**  
 関係各省市庁・団体の就職支援や人材育成関連事業の職場実習のために自前の野菜販売店「サニータイム」を立ち上げました。通常は他企業に受け入れてもらう実習について、同学院のこれまでのノウハウを活かし、目の届く直営販売店により効果的、実践的な訓練を行う試みです。

店では運営全般にかかわる経験を積む



証券業

## 上光証券株式会社

中央区北1西3

その他 ■機会創出

**資産運用のコツ教えます 無料の出前セミナー開催**  
 資産運用を学びたい、始めたいという道民のニーズに応え、無料の出前セミナーを開催しています。講師は社員や社外専門家が担当。オリジナルのテキストを作り、規模や内容に応じて年100回程度実施しており、支店のない遠方エリアへの「出前」も積極的に行っています。

主婦の勉強会から大規模なものまで行う



コーヒー豆販売、喫茶店経営

## ロイズコーヒー ユニオン株式会社

中央区南21西10

教育 ■社員参加 ■技術提供

**小中学生を店舗に招き職業体験学習を実施**  
 近所の小中学校からの要望で、店舗にて生徒の職業体験学習を実施しています。小学校低学年は質疑応答、同高学年、中学生はスタッフながら接客やコーヒーを淹れる作業などの日常業務を手伝います。担当者は「働くことの喜びや面白さなどを感じてもらえれば」と語ります。

おいしいコーヒーの淹れ方にチャレンジ



清涼飲料販売

## 北海道キリンビバレッジ株式会社

中央区北11西19

その他 ■資金提供 ■物品提供

**自動販売機を通してピンクリボン活動を応援**  
 乳ガンの早期発見、診断、治療の大切さを啓発するピンクリボン活動を応援しています。ピンクリボン自動販売機を設置するほか、イベントにも協力。この自動販売機の売上は販売店と社内で各1%ずつ、日本対がん協会ほほえみ基金に寄付されています。

市内に設置したピンクリボン自動販売機



共同仕入機構

## 株式会社 北海道シジシー

豊平区平岸

その他 ■資金提供



寄付に対する感謝状を受け取る  
横山清代表取締役社長

北海道シジシー（北海道CGCグループ／道内スーパー11社加盟）は、昭和56年からチャリティーキャンペーン事業を実施してきました。また、周年記念事業で寄付を行うなど、継続的に社会貢献活動に

## 環境保全活動を推進するCGC基金設立 創業記念にさぼーとほっと基金にも寄付



石狩森林管理署と協定を結び、「北海道CGCの森づくり」に取り組む

取り組んでいます。

平成20年には「北海道CGCみどり」ところの基金」を設立。この取組は、同グループ加盟社がレジ袋販売金額全額を同基金へ寄付し、環境団体や研究機関などに対して助成を行なうものです。同基金の直轄事業として、支笏洞爺国立公園内の国有林において森づくりも進めています。

平成22年の創業30周年の際には、記念寄付先のひとつに札幌市の「さぼーとほっと基金」を選定。次代を担う子どもたちのためにとの思いから、子育てを支援する「CGC子ども基金」を設置しました。

医療・介護

## 社会医療法人 禎心会

東区北47東17

福祉 ■人材活用 ■機会創出



運営する新札幌恵愛会病院では職員が支笏湖周辺復興の森づくりに参加

社会医療法人禎心会では、「良質な医療、介護を通じて地域社会の繁栄に貢献する」という理念に基づき、社会貢献活動の一環として無料講演会を行っています。講演案内はホームページに

## 病気に関する正しい知識などを伝える 無料講演会や「がんフォーラム」を実施



「がんフォーラム」では正しい知識や予防・治療法をわかりやすく説明

掲載。テーマや日程の調整がつけば、同法人の医師や医療スタッフが講師として出向き、医療情報を提供しています。少人数にも対応し、企業のほか町内会や老人クラブなどからの依頼も多いそうです。平成21年からは一般市民向けの「がんフォーラム」を主催。「市民や地域の方の健康づくりの役に立てれば」という思いから、今後も活動を続けていきたいと考えています。また、運営する病院やクリニックなどにおいても、環境に配慮した取組や乳がん・ピンクリボン運動のイベントなどに参加しています。

電気・電気通信工事

エル電株式会社

東区北33東18

地域安全 ■社員参加 ■人材活用

**工事現場の周辺地域にて  
防犯灯や電灯を清掃・修理**

「社業を通じて世間に貢献」を社訓とするエル電。地方での作業が長期にわたることがあり、休工期を使って工事周辺地域の防犯灯、バス停や公衆トイレの電灯清掃・修理、草刈りなどを行っています。「今後は札幌市内でも何か活動ができれば」と考えています。

地域を巡回し、清掃や電球の交換を実施



郷土料理店経営

札幌観光株式会社

中央区南3西4

その他 ■物品提供

**児童養護施設の子どもを  
「杉ノ目」の会席に招待**

「きょうど料理亭 杉ノ目」を経営する札幌観光では、市内数カ所の児童養護施設の子どもたちが高校を卒業し社会に出るタイミングで、杉ノ目の会席に招待し、フルコース料理を食べるときのマナーを指導しています。「お祝いと激励の意味を込めて行っている」と杉目幹雄代表。

杉ノ目で会席料理を楽しむ卒業生たち



コーヒー・豆販売、喫茶店経営

株式会社 宮田屋珈琲

清田区清田

教育 ■機会創出 ■技術提供

**小中学生向けコーヒー講座  
豆の焙煎の見学も実施**

地元の小中学校からの依頼で、生徒を対象にしたコーヒーに関する講座を行っています。清田区本店でコーヒー豆の焙煎の様子を見てもらうほか、淹れ方や豆の産地、味などを宮田一也代表が自ら講義。「この研修が子どもたちの成長にいい刺激となればうれしいですね」。

生豆について生徒に講義する宮田代表



調剤薬局、ドラッグストア運営

株式会社  
アインファーマシーズ

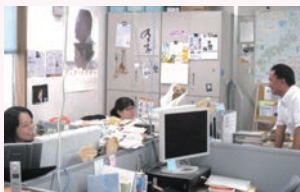
東区東苗穂

教育 ■資金提供 ■機会創出

**医薬・医療分野で産学連携  
5つの大学に寄付講座設置**

平成17年から総合大学の医学部にて寄付講座をスタート。全国5大学で7講座を実施するとともに、医薬に関する共同研究を行っています。同社では産学連携の取組を通じて、「医薬・医療の発展、次代を担う医療従事者の育成に寄与していきたい」と考えています。

東京大学医科学研究所研究室の光景



保育園

社会福祉法人 陽光福祉会  
光の子保育園

豊平区月寒東

子育て ■社員参加 ■機会創出

**保育園児と地域の親子が  
遊ぶ場・つながる場を提供**

保育園に通っていない子どもたちを園児と一緒に遊ばせたり、親同士の交流、保育士とのふれあいを図るなど、保育園を知ってもらう活動に取り組んでいます。「地域との交流を大切にし、保育の現場から情報を発信して、子育てを応援できたら」というのが同保育園の思いです。

にぎやかに園児と楽しく遊び



イチゴ生産、観光農園

株式会社 Snowberry Farm

南区豊滝

その他 ■機会創出

**ニートなどの若者に  
働く機会・訓練の場を提供**

札幌市からの打診がきっかけで、2年前から就労機会が得られない若者などを訓練生として受け入れています。彼らは5カ月間、イチゴの栽培から出荷に至る作業を経験。「短期間だが忍耐力や精神力を養い、ここで培ったことを次に活かしてほしい」というのが同社の思いです。

イチゴ栽培を通して忍耐力などを養う



靴小売

## 株式会社 アルファ美輝

中央区南1西7

その他 ■その他

**病院では教えてくれない  
足にまつわる健康相談会**

「足や靴の悩みを抱えている人たちのかけこみ寺になれば」。健康靴を販売するアルファ美輝は、そんな思いを胸に、足の健康相談会を随時無料で行っています。スタッフ全員がシューフィッターの有資格者。病院では教えてくれない足や靴にまつわる知識を提供しています。



正しい靴の選び方や歩き方をレクチャー

建設コンサルタント

## 株式会社 エコテック

中央区北3西2

教育 ■技術提供

**川を知り、親しみ、学ぶ  
子どもの環境学習を支援**

NPO法人水環境北海道が平成9年から主催する「千歳川かわ塾」。同社の妹尾優二取締役会長が塾長を務め、子どもたちに命の尊さや自然との共生などを学ばせています。「活動の基本は教育。知識よりも知恵を、また、困難にめげない精神的な強さを育てたい」と妹尾会長。



たも網を手に、川の生き物を調査中

広告代理店

## 株式会社 創文

中央区北3西2

スポーツ ■機会創出 ■技術提供

**北海道野球協議会の活動を  
企画広報面で全面的に応援**

子どもたちが安心して野球に打ち込める環境づくりをと、NPO法人北海道野球協議会が設立した「北海道ベースボールこども夢基金」を応援。寄付金を集める様々な企画を考え、実施しています。「次代を担う青少年の育成に少しでも貢献できれば」と木村明宏代表取締役。



各種グッズや印刷物の制作も同社が担当

自動車学校

## 株式会社 藻南自動車学校

南区川沿

地域安全 ■物品提供 ■技術提供

**高齢者の交通安全を目的に  
ドライバークラブを設立**

町内会や札幌方面南警察署と連携し、高齢者に安全運転・交通安全を呼びかける組織として、平成21年9月「もなみシルバードライバークラブ」を設立。会員登録している地域の高齢者に向け、電動車いすの安全講習会や交通事故現場見学など、独自の企画を実施しています。



電動車いす講習会では実車の体験運転も

金融業

## 北海道労働金庫

中央区北1西5

その他 ■資金提供

**福祉、市民活動を後押し  
独自の社会貢献助成制度**

創立50周年を迎えた平成13年度に「北海道ろうきん社会貢献助成制度」を創設。市民活動に取り組むNPOやボランティア団体に助成を続けています。助成先は年度ごとに募集をかけ、会議によって選定。平成22年度は42団体に計805万円の助成を行いました。



助成先のうち3団体を招き行った贈呈式

人材派遣、音楽教室運営

## 株式会社 ブライトサッポロ

中央区南1東2

文化芸術 ■人材活用

**イベント会場で  
無料ゴスペルライブ**

各方面からのボランティア出演要請に応えて、ブライトサッポロ音楽スクールの講師と生徒が、様々なイベント会場の介護老人保健施設、病院などで無料ライブを行っています。演目はゴスペルが中心。ボランティアに参加できる歌い手は100人以上登録されています。



毎年盛り上がりを見せる雪まつりライブ